



福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-23-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年-2012年 RI テーマ

■会長：高橋和之 ■幹事：菅原節子
■会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：鈴木光一
■委員：丹治智幸 丹治洋子 福田昌明

第25回例会

平成24年1月11日(水) サンパレス福島

■メークアップ/30名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/37名 ■出席率/55.22%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 「ロータリーの友」読みどころ
喜古 勝弘 委員長長
- 4 誕生者お祝い・スピーチ
- 5 IM 実行委員会 経過報告
野地 利雄 委員長
- 6 閉会点鐘

今月・来月のプログラム

- 11月18日(水) ゲストスピーチ
福島大学副学長 清水 修二 先生
- 11月25日(水) ポールハリス追悼例会(昼)
- 12月15日(水) IM準備例会
- 12月17日(金) IM(東北第一分區インターシティミーティング)
サンパレス福島

今週のトピックス

脱走54時間!! 刑務所側は、『逃げるはずがない』という気持ちの緩みがあったとの事。付近の住民は大迷惑を被りました。逮捕されて本当に良かった。

◆会長あいさつ◆

高橋 和之 会長

新年明けましておめでとうございます。昨年は、“まさかの坂”の大震災対応に明け暮れた年でした。今年は、震災の影響が続きつつも、希望と勇気に向かった、積極的な切り替え年度になるものと、身の引き締まる思いのスタートであります。

当クラブにおきましては、無事半年が過ぎましたが、私にとりましては無我夢中の、あっという間の半年でありました。ここまで何とかこなせましたのも、ひとえに役員・理事の皆様と各委員会に支えられてのお陰でございます。謹んで御礼を申し上げます。

後半のスタートに先立ち、私が感動した昨年半年間の振り返りをしたいと思います。

7月6日の第1回例会では、新会員の入会式でした。幸先の良い予感がして大変嬉しかった事を思い出します。紺野年度におかれましては、祝福の入会式が出来ますように、皆様のご協力をお願いいたします。7月13日の第2回例会は、地区切っのガバナー公式訪問でした。

8月17日の第6回例会は、京都洛中RCの会長ほか3名の幹部の方が来訪されまして、当クラブの復興支援室の皆様と復興支援の打ち合わせを持ちました。

8月24日の第7回例会は、東京麹町RC様がメー

クアップされまして、東日本大震災の復興支援と、姉妹クラブ締結についてお打ち合わせいたしました。

9月26日(月)は、東京麹町RCに4名でメークアップいたしました。御礼のご挨拶をさせていただきました。

10月19日の第15回例会は、東京麹町RCとの姉妹クラブ締結式でした。末永いお付き合いを誓い合った感動の例会でした。

12月21日の第23回例会は家族クリスマス忘年会でした。ご家族様の参加が多く、RI会長の“家族とともに”が反映されましたアットホームなクリスマス忘年会でした。姉妹クラブ東京麹町RCのご家族様もご参加いただきまして、前半を締めくくるのに、ふさわしい盛大な夜間例会でありました。

以上が、私が感動いたしましたプログラムであります。この他にも会員並びに委員会の皆様にご苦労頂いた感動する例会やプログラムが数多くありました。半年間の感想ですが、我が南クラブは会員のチームワークとバランスが非常に良く、プログラムやプロジェクトの遂行し易いクラブであることを強く感じた次第です。

残すところ、あと半年となりましたが、各委員会の皆様に支えられながら、全うするつもりでありますので、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。新年の会長挨拶とさせていただきます。

◆「ロータリーの友」読みどころ◆

クラブ広報・雑誌委員会

喜古 勝弘 委員長



「横組みのページ」ロータリー理解推進月間にちなみ、ポール・ハリスの自宅「カムリーバンク」の特集記事が掲載されています。又、

原発20km圏内のガバナー公式訪問として、富岡、小高、浪江ロータリークラブの記事が掲載されています。「縦組みのページ」友愛の広場では、二回も被爆した柿の木と題して、本宮RCの高田宗彦会員の投稿が掲載されています。

◆IM 実行委員会 経過報告◆

野地 利雄 委員長



実行委員長の野地でございます。IMは都市間・地域間の研修と親睦を目的とし、意見発表と吸収、クラブ会員相互の理解を深める最も良い機会と思われま。今回は福島南ロータリークラブがホストクラブですので、皆さん参加をしていただき、交流を深めてください。

昨日実行委員会を開催しましたが、現時点の参加者は175名、その内福島南ロータリークラブの参加者は、45名となっています。

◆誕生者お祝い・スピーチ◆

大橋 廣治 会員

一茶の句“めでたさも中くらいなりおらが春”がぴったりではないかなと感じられます。マッカーサー元帥の執務室に貼ってあったサミュエル・ウルマンの詩「青春」を各テーブルに置きましたが、この詩にうたわれている内容は、ロータリーの考え方が脈々と綴られていると感じます。これからもこのような気持ちを持って頑張っていきたいと考えています。

吉田 和義 会員

1月14日で66歳になります。南ロータリーの会員の中では、中位なのかなと思います。これからの長い人生を考える中で、やはり社会的な貢献をしていかなければ、満足な人生を送ることができないのではないかと考えています。そうした中で、ロータリー活動をライフワークとして行こうと考えています。

国分 秀夫 会員

松下幸之助の「商売戦術三十カ条」を紹介したいと思ひます。第一条の、商売は世の為、人の為の奉仕にして、利益はその当然の報酬なりから始まり、第三十条の、商人には好況・不況はない、いづれにしても儲けねばならぬ。これは商売の神様だからこそ、このような文章が生まれたのだと考えます。私もこれを経営にいかし、又ロータリーでも勉強をしていきたいと思ひます。

本田 光男 会員

入会して7年間、7回目の機会となりますが、今迄の活動をしてきて感じたことが2つあります。



一つ目は、四つのテストです。私は、フェンシングの選手で現在は連盟の役員をしています。フェンシングでも仕事の中でも、大切だと感じています。

皆さんもいろいろな情報が正しいのか、把握し判断をして行動するのではないかと思います。ロータリークラブに入会して、一番感慨深いことです。

もう一つは、ある先輩が奉仕をされる側とする側の話をされたことが印象に残っています。

林 克重 会員

東京で修業をしていた長男が稼業を継ぐことになり、和み感のある正月はこれが最後だなと感じて、落ち着いた正月を過ごしました。

ロータリー活動の中で特に感じることは、学ぶこととそれを実践することです。昨年は地区の様々な方々とお会いして学ばせて頂きました。今年からは、それを如何に実践するかということです。復興に対する活動をはじめとして、一步一步向かっていきたいと考えています。

菅野 良二 会員

私は1月1日の誕生日ですが、本来は12月30日です。両親から聞いていたのですが、役場がお休みで1月1日の誕生日となりました・・・(笑)

父親は亡くなりましたが、母親に感謝し精一杯の親孝行をしてゆきたいと思ひます。

また、残された人生は健康者であり先進国に暮す私たちが、障がい者や発展途上で暮す弱者に手を差し伸べることが、とても大切なことと考えています。

例会には出席されませんが、鈴木定男会員・笠雅樹会員・紺野仁昭会員・浅倉俊一会員・赤間英典会員も誕生日を迎えられました。おめでとうございます。

◆スマイリングボックス◆

1月のお誕生者おめでとうございます。

高橋 和之 会長

1月生まれの11人の皆様お誕生日おめでとうございます。

菅原 節子 幹事

1月2日、駅西口の結婚式場「空の庭」で、娘や孫たちが、私たちのダイヤモンド婚を盛大にやってくれました。

佐藤 誠 会員

なんだか今年は、良い年になりそうな予感です。

高橋 勇雄 会員

福島リトルの必勝祈願を稲荷神社にて無事に済ませました。子供たちの笑顔を見てほっとしました。

富田健三郎 会員

誕生日のお祝いありがとうございます。

林 克重 会員

誕生祝、ありがとうございます。本田 光男 会員

スマイル 36,000円 累計 1,130,000円
財団・米山 36,000円 累計 1,067,000円

～ 一週一言 ～ 健康の三原則

- 第一に心中常に喜神を含むこと。
- 第二に心中絶えず感謝の念を含むこと。
- 第三に常に陰徳を志すこと。

安岡 正篤 一日一言より

一編集後記一

去年の冬よりもずいぶん寒いと感じています。(福田)